

関東ゴルフ会員権取引業組合員の皆様

龍ヶ崎カントリー倶楽部



2017.05.19

<本日のピックアップ>

- ①平日会員の募集
- ②提携コースについて
- ③来年は60周年

コースレイアウト

生前、氏が最も愛したコース “井上誠一氏”の代表作

- 2グリーンの傑作（ベント本グリーンの草分け）
- 「谷」が象徴、あるがままの自然を活かしたレイアウト
- バンカーの数、120
- 巧みな動線、メンテナンスまで考えた設計

コースレイアウト

井上誠一氏の設計思想

井上誠一氏が書かれた計画書には「此のコースの設計上の狙い」として、次のように書かれています。

- (イ) プレー上極力使い勝手の良いものとする。一番、十番の関係やグリーンから次のティーへの渡りなどを重視しております。
- (ロ) 各ショット毎に充分作戦計画を練って向かわねば征服出来ないレイアウトを行います。従って、コースに飽きが来ない、新鮮味を失わない。
- (ハ) 恵まれた立地条件や環境に加えるに美しい造形手法によってプレーヤーは天国に遊ぶ心持。真に生甲斐を感じるであります。
- (ニ) 各ホールプレー上の変化を狙っております。此のコースでは、プレーヤーは総ゆる種類のショットをマスターしなければならないから、此のコースで腕を磨けばどんなコースへ行っても怖れることはありません。

コースアウト

現在進行形の高い評価
日本で有数のチャンピオンコース

■ 関東屈指のチャンピオンコース

- ・開場1958年
- ・7,047ヤード / コースレート 73.2 / 歩行プレー

■ メンテナンスの継続努力

- ・2006年 高麗グリーンへのベント化
- ・2007年 新・コース売店の建設
- ・2010年 バンカー改修
- ・2011年 新品種芝(007)の導入
- ・2012年 アプローチ練習場のリニューアル
- ・2015年 シニア&レディースティの完成

歴史と伝統

日本プロ、日本オープン、日本女子オープン開催
トーナメントの歴史

- | | | |
|--------|----------|---------|
| ・1963年 | 日本プロ | (橘田規) |
| ・1967年 | 関東オープン | (河野高明) |
| ・1979年 | 関東アマ | (羽川豊) |
| ・1984年 | 関東シニア | (山口梅吉) |
| ・1989年 | 日本アマ | (尾家清孝) |
| ・1992年 | 日本オープン | (尾崎将司) |
| ・1996年 | 日本女子オープン | (高村亜紀) |
| ・2001年 | 関東アマ | (甲斐慎太郎) |
| ・2004年 | 日本アマ | (李東桓) |

日本で有数のチャンピオンコース ～現在進行形の高い評価～

各ゴルフ誌での高い評価

■Choice誌「日本のベスト10コース」連続ランクイン

他に類例のない日本色豊かなゴルフ場。
「日本ならではの起伏の面白さ」と高い評価を受けています。

2017年TOP10

- ・日光カンツリー倶楽部
- ・大洗ゴルフ倶楽部
- ・我孫子ゴルフ倶楽部
- ・浦和カントリー倶楽部
- ・東京ゴルフ倶楽部
- ・川奈ホテルゴルフコース(富士)
- ・廣野ゴルフ倶楽部
- ・茨木カンツリー倶楽部(西)
- ・鳴尾ゴルフクラブ
- ・古賀ゴルフ・クラブ

財務状況

風格ある心温まるクラブ運営の基盤として
健全な財務体質

- 無借金経営
- 株主会員制
- 100%自社有地

クラブライフ

「メンバーシップクラブ」の基本姿勢一貫 和やかなクラブライフ

【龍ヶ崎CCの精神】

「ゴルフ好き」という下に平等

不許冠職入山門(冠職山門に入るを許さず)
ひとたびクラブハウスの扉をくぐれば、社会的地位、肩書はなくなる

■アクティブに活動するプライベート会

龍友会、龍ヶ崎会、飛龍会、龍和会、六三会、常磐会、TGR会、龍ヶ崎OB会
YDC会、シニア会、女子研修会、カレア会(女子)、三田会、稲門会、早慶戦、他

■新入会員懇親会 (年2回)

■会員名簿の定期発行 (隔年)

■メンバーによる会報誌の定期発行 (年2回)

クラブライフ

マッチプレー(年4回)、2ラウンド競技(年3回)など 競技会もメンバー重視

■4大競技

倶楽部選手権、理事長杯、キャプテン杯

シニア選手権

■定例競技

月例会(Aクラス/Bクラス)、木曜杯、祝日競技

※マッチプレー

倶楽部選手権、理事長杯、シニア選手権、キャプテン杯

※2ラウンド競技

倶楽部選手権(予選)、理事長杯(予選)、スクラッチ杯

D=カ-
男 405
女 67.

クラブライヴ

通いつめるための条件
アクセスの良さ、電車で通えるコース

- 電車での来場（JR常磐線・佐貫駅）
 - ・日暮里から48分 + クラブバス15分
 - ・朝5便、帰り6便（土日）
 - ・朝3便、帰り4便（平日）
- ※メンバーの間で、“電車派”が増加中



- クルマでの来場
 - ・**圏央道が東関東自動車道路と接続（大栄JCT）**
 - ・インターチェンジからのアクセス向上

<① 平日会日の募集>

よりよりクラブ共同体の運営に向けて、“メンバーシップの良さ”を維持しながら
 “平日の稼働率向上”を目指しています。

2013年	12名
2014年	47名
2015年	27名
2016年	21名

2013年秋以降、“入会者”が増加継続しています。
 ご協力ありがとうございました。

< 平日会員の募集 >

【今後の募集予定】

平日会員、こんな方には是非おすすめいたします。

- **クラブライフを重視する方**
「ゴルフ好き」という下に平等
不許冠職入山門(冠職山門に入るを許さず)
ひとたびクラブハウスの扉をくぐれば、社会的地位、肩書はなくなる
- **良いコースでプレーをしたい方**
恵まれた立地条件や環境に加えるに美しい造形手法によって
プレーヤーは天国に遊ぶ心持、真に生甲斐を感じるであります。
～井上誠一・設計計画書「どんなコースが出来るか」より～
- **平日が自由なシニア世代の方**
- **将来的に正会員になりたい方**
本平日会員が、将来、新たに株式(正会員)を取得され、
名義書換申請により、正会員として入会した場合は、
正会員の名義書換料から100万円を免除いたします。

< 提携コースについて >

【海外名門コースとの提携開始 #1】



ロイヤル・セランゴール・ゴルフクラブ <クアラルンプール/マレーシア>

クアラルンプールの中心街にあって、有名なツインタワーから車で約5分。街中の土地を大変贅沢に使っているゴルフ場。日本で言うと“新宿御苑”や“日比谷公園”がゴルフ場のような位置づけ。

2コース36ホール+ショートコースがあり、クローズドなメンバーコースとして、マレーシアの富裕層が集まる社交の場となっており、ステイタスも非常に高い。

< 提携コースについて >

【海外名門コースとの提携開始 #2】



シンガポール・アイランド・カントリークラブ
 <シンガポール>

シンガポールの名門ゴルフコースで、市街の近くにある巨大公園の中にあり、鳥の鳴き声が聞こえる都会のオアシス。

クラブハウスも新しくリニューアルされ、エントランスはリゾートホテルの様で、何から何までゆったりとした作り。メンバーは元首相をはじめとした富裕層が多い。

< 提携コースについて >

大洗、大利根、札幌など、井上誠一氏設計・名門コースらと提携中。
 加えて新しく、同氏設計リゾートコース“赤倉GC”と提携開始。



赤倉ゴルフコース <赤倉観光ホテル・新潟県>

赤倉観光ホテルは、1937年、日本の高原リゾートの草分け的存在として誕生。創業者は、当時帝国ホテル会長を務め、“川奈ゴルフコース”“上高地帝国ホテル”をつくった大倉喜七郎氏。2011年、新館完成。「温泉リゾートの完成形」として旅行雑誌からも高い評価。

1971年、井上誠一氏設計のもとで、18ホールゴルフコースがオープン。当時の井上氏の造成指示書には「Green周辺の自然地形および樹木、樹林を生かして出来るだけ自然環境に溶合した造形方法を探ること」と書かれており、自然美を最優先したコース設計思想がうかがえます。

< 提携コースについて >

【海外名門コースとの交流】

2016年9月7日～11日にかけて、山崎理事長を団長とする龍ヶ崎CCのメンバー有志30名が、友好倶楽部のシンガポールのザ・シンガポールアイランドカントリークラブ（SICC）とマレーシアのザ・ロイヤル・セランゴール・ゴルフクラブ（RSGC）を3回目の親善訪問をしました。10月9日はSICCから10月19日にはRSGCから龍ヶ崎CCへ親善訪問がありました。本年9月9日・10日には本倶楽部からの4回目の訪問が計画されています。



RSGCとRCCのプレゼント交換



SICCとRCCのメンバー

< RCC来年は60周年 >

2018年は60周年の節目の年

- 日本ゴルフ史を飾るレガシー倶楽部の継承と更なる発展
- 歴史を築いた先達への恭敬と引き継ぐ者としての自覚と責任
- 更に愛され大切にされる倶楽部を目指して